

(別添5)

## 福祉サービス第三評価結果の公表ガイドライン

① 第三者評価機関名

NPO法人未来

② 施設・事業所情報

名称：企業主導型保育所 住吉クローバー保育園	種別：保育所
代表者氏名：山城 伸一 園長 氏名：山城 直	定員（利用人数）：74（59）名
所在地：鳥取県米子市旗ヶ崎2322	
TEL：0859-57-6005	ホームページ： <a href="http://clover-hoikuen.jp">http://clover-hoikuen.jp</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日：2018年3月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：株式会社クローバーホールディングス	
職員数	常勤職員：15名 非常勤職員 5名
専門職員	保育士 9名
	支援員 4名
	調理員 2名
施設・設備 の概要	（居室数）6室 （設備等）園庭・床暖房

③ 理念・基本方針

保育理念

好きなことをもっと好きになれるよう 自分らしさを大切にのびのびと生活する

保育方針

- 四季を感じながら、色々な体験をしていきます
- 好きなことがもっと好きに、楽しくなるように個性を大切にしていきます
- いろいろな人と関わる中で、心の育ちを大切にします

④ 施設・事業所の特徴的な取組

- ・園バスを利用した地域との交流・環境の学び。
- ・「これで遊びたい」と言う子どもの思いに寄り添った保育。

⑤ 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年10月27日（契約日） ～ 令和3年 3月 23日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（ ）

⑥ 総評

◇特に評価の高い点

- ①今年度クローバーグループ内に園バスを導入したことで、バスでの外出が可能になり、児童文化センターで絵本を借りたり、湊山公園での運動会、水鳥公園等に出かけることができるようになった。
- ②プランターで米が育つ様子を観察し、精米し、おにぎりにして食べ、食育の観点からも心豊かに学び、家族の会話が広がった。
- ③近くの水道局の芝生を使用した園外活動のお礼に、勤労感謝の日に手作りのカレンダーを届ける交流を毎年行っている。
- ④クローバーグループの栄養士が、卵と小麦粉を抜いた「除去食」で献立を作成し、旬の食材や地元の食材を使って個々の成長にあった食事を、自園調理で提供している。
- ⑥ コロナ禍にあり、行事の様子を伝えるため、玄関での写真掲示やDVDにして配布するなど、情報発信に努めている。
- ⑦ クローバーグループ全体で計画的に第三者評価を受審し、職場改善について全職員との情報共有に取り組んでいる。
- ⑧ 労務管理について、外部コンサルティングの評価を受け、課題解消に向け取り組んでいる。

◇期待できる点

- ①一人ひとりの能力を発揮するための労働環境、相談しやすい環境、バランスのとれた配置ができるよう人事制度を含め改善を図れるよう取り組んでいる。
- ②今年度、社外監査役（会計士）の選任、外部の監査法人との契約の締結、事業・内部統制・財務等の整備をし、透明化を図っている。
- ③グループウェア（サイボウズ）の導入により、全園と本部を繋ぐクラウド上での情報共有環境を整備し、業務の効率化を進めている。

◇改善を求められる点

- ①事業計画等の職員への周知及び理解の促進に努め、さらに保護者への発信に進めていくよう期待する。
- ②会社組織全体の規模が拡大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入している。人事考課や目標管理等への活用がスムーズに実用化することを期待する。
- ③子どもの状況や発達に合った保育を展開しているが、職員一人ひとりの自己評価を園全体の評価につなげて、保育の質の向上に繋がるよう、さらに工夫を望む。
- ④ 園全体でマニュアル等の見直しをしてはどうか。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

保育理念に沿いながら新しいことに取り組んできたこと、また新型コロナウイルスの対策をしながら取り組んできたことに評価頂き、大変嬉しく思います。今回の評価を受けて保育の質の向上、職員間の連携、各種マニュアルの整備・見直し、など改めて気づくことができました。保育活動の良いところをより充実した内容していき保護者様と共有していきたいと思ひます。また、今後もグループ内の連携をとりながら評価を活かした取り組みを考えていきたいと思ひます。

⑧第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(別紙)

## 第三者評価結果

※すべての評価細目(45項目)について、判断基準(a・b・cの3段階)に基づいた評価結果を表示する。  
 ※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

### 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

#### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ b・c
<コメント> ホームページや園のしおりに理念・基本方針を示し、また、園の玄関の目に触れるところに掲示し、周知を図っている。保護者に対して、園の行事や保護者アンケートなどその都度園の方針をわかりやすく説明している。職員に対して、職員研修、ミーティング等で理念・方針の共有およびそれに基づく実践状況を確認し、継続的な取り組みを行っている。		

#### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a Ⓑ c
<コメント> 国、県、市、福祉医療機構、民間研究機関、同業種上場企業等の公表資料により、具体的に動向の把握に努めているが、十分とは言えない。役員による定期的な職員面談等により現場の環境把握に努めており、月1回以上の経営会議や取締役会で課題を把握し、分析する機会を作っている。		

3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>財務会計と内部統制については、今年度、外部の監査法人との監査契約を締結し、組織体制の強化に努めている。外部の会計事務所の協力を得て、内部統制関係の整備をした。職員への周知までには至っていない。外部コンサルティングの評価を受け、労務管理上の課題解消に向け取り組んでいる。グループウェア（サイボウズ）導入により、全園と本社を繋ぐ情報共有環境を整備した。また、クラウド型電子契約システムを導入し、業務の効率化に努めている。職員への周知が課題である。</p>		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>経営計画についての中期経営計画及び収支計画を策定し、取締役会等により評価するよう努めている。理念や基本方針の実現に向けての中・長期計画は十分とは言えない。</p>		
5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・ <b>b</b> ・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>単年度事業計画は、新規開設や人材確保、人員配置、園児受け入れ計画を策定し、毎月取締役会、経営会議にて情報共有している。数値目標や事業の成果を設定するなど、具体的に検討してはどうか。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・ <b>c</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>全体の保育計画・月案・週案・個別経過記録でその都度保育理念や保育目標に基づく評価、反省を行っているが、事業計画は職員等への参画や、意見の集約・反映が十分に行われていない。計画を具体的に職員が周知・理解できるよう取り組みの工夫を期待する。また、事業計画の実施状況が手順に基づいて具体的に評価・見直しできるよう努めてほしい。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、利用者等に周知され、理解を促している。	a・b・ <b>c</b>
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ホームページ上には事業計画は示されていない。保護者には年間行事に関する文書を配布している。保護者への参加を促す観点から周知・説明の工夫を期待する。</p>		

### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 福祉サービスの質の向上に向けた取組が組織的に行われ、	a・ <b>b</b> ・c

	機能している。	
<p>&lt;コメント&gt;  内部評価について、職員個人面談・各園ミーティング・園長会・月齢別研修等の定期開催により意見交換や情報共有を図り、質の向上に努めている。会社組織全体の規模が増大しており、効率化及び管理体制の透明化を図るため、今期よりクラウド人材管理システムを導入し人事考課や目標管理等に活用していく計画がある。定期的に第三者評価の受審を計画している。全職員での振り返りや情報共有に努めてほしい。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき組織として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<p>&lt;コメント&gt;  ミーティングや園内研修等で、定期的に課題解決に向けて見直しを行う体制を構築している。より良い状況にしていくため、建設的な意見が出る場に行えるよう今後も継続してほしい。</p>		

## 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	Ⅱ-1-(1)-① 管理者は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<p>&lt;コメント&gt;  園だより、ホームページ、重要事項説明書等で園長の役割と責任を表明し、職員に周知して理解を得ている。課題に応じてリーダーシップをとり、役割を果たすことに努めている。園長不在時の権限委譲を文書化してほしい。</p>		
11	Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<p>&lt;コメント&gt;  グループの園長会等を通して、園長としての心得や法令遵守の観点での保育に取り組み、職員に周知している。社会福祉にとどまらず、雇用、労働、防災、環境等幅広い分野の理解を深める取り組みも行ってほしい。</p>		
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 福祉サービスの質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	a <input checked="" type="radio"/> b • c
<p>&lt;コメント&gt;  園長は保育の質を向上するために、関わり方について指導力を発揮している。定期的に保育計画や内容等について、職員の意見を出し合いながら決定できるよう努めている。今年度は職員の話し合いの時間が少なかった。</p>		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	a <input checked="" type="radio"/> b • c

<コメント>

人事、労務、財務は本部が一括して業務を担当している。職員が働きやすいようにシフトを組み、事務時間が取れるように配慮している。本部と連携して、改善の要望や保育用品の購入等、保育環境が良くなるよう努めている。

## Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a (b) c
<コメント> 法人本部として外部研修へ計画的に参加を促し、その学びを検証する体制をとっている。補助金等を活用しながら、保育士等の資格取得支援など職員のスキルにも取り組んでいる。を実施している。法人で女子サッカークラブを運営しており、当該部及び保育系学科のある大学等にも直接アプローチをし、子育て支援員も含め、人材確保に努めている。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a (b) c
<コメント> 職員面談等により意向・意見の吸い上げ等実施しているが、明文化された基準や体系的な評価制度の確立については不十分である。法人全体で職員数が増大しており、今期よりクラウド人材管理システムを導入し、人事考課や目標管理等に着手しているところである。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a (b) c
<コメント> 有給休暇の取得状況は本部が管理している。出勤簿や休暇簿の点検等の勤怠管理、職員の健康管理に配慮したシフト作成は園長と本部が連携し、就業状況や意向の把握に努めている。日頃から職員が相談しやすいよう工夫して、心身の健康や福利厚生についての意向の把握に努め、さらに働きやすい職場づくりに取り組んでほしい。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a (b) c
<コメント> 定期的に個人面談を実施し、職員の理解度の確認等、保育の質の向上に取り組んでいる。法人の期待する職員像を目指し、職員一人ひとりの目標を設定し、達成度の確認ができるよう期待する。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a (b) c
<コメント> 自治体等外部の研修に積極的に参加している。法人内においては、職種別、担当クラス別等に分		

類し、会議による意見交換や研修を実施している。職員教育・研修に関し、具体的な目標や体系的な計画等、さらに明確な保育所の基本姿勢を期待したい。		
19	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a <b>b</b> c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の経験年数、クラスの子どもの姿等を考慮し、本人の希望を確認した上で研修を実施している。研修後は報告書を提出し、園内の伝達研修で共有している。今後は体系的な計画を策定するための評価基準を明文化していくよう検討中である。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	II-2-(4)-① 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a <b>b</b> c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>実習のしおりを作成し、受入フロー、実習目標の共有及び振り返りについての流れをマニュアルとして文書化しているが、不十分である。単位取得のみを目的とせず、実際の保育を体感する保育園グループの理念を共有できるよう努めている。今後、より体系的に学べるようなプログラムを工夫してほしい。</p>		

### II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	II-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a <b>b</b> c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園見学や公開保育等を積極的に実施している。SNS等も活用し、幅広く触れる機会の創出に努めている。行事の様子を伝えるため、玄関での写真掲示など生の情報提供（運動会風景の動画）にも努めている。今年度、ホームページをリニューアルした。今後情報公開を行っていく計画があり、事業計画・苦情相談、第三者評価結果、財務報告等公表内容を広げてほしい。</p>		
22	II-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a <b>b</b> c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>事務、経理、取引等において、法人本部と各園で棲み分けをしている。小口現金管理は各園で行い、消耗品、備品等小口現金予算の範囲を超えるものはグループウェア（サイボウズ）上で稟議をかけるなど、承認経路をスリム化し処理の迅速化を図っている。社外監査役（会計士）を選任。外部監査法人と契約を締結し、事業、内部統制、財務等を整備し、内部監査室を設置した。運営状況についての職員の周知を望む。</p>		

### II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		

23	Ⅱ-4-(1)-① 利用者と地域との交流を広げるための取組を行っている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>園バスを利用して、近隣の公園、児童文化センター、水鳥公園等に積極的に出かけることができるようになった。また、近くの水道局の芝生を使用した園外活動のお礼に勤労感謝の日に手作りのカレンダーを毎年届ける交流を行っている。</p>		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・(b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>ボランティア等の受入れに対してマニュアルを整備し、本部と確認をとりながら実施している。今年度、小学校とつながる予定にしていたが、コロナ禍のため中止になった。</p>		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 福祉施設・事業所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a (b)・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>特定の関係機関との連絡会は、今年は中止が多かった。発達について気になる子どもについては米子市に相談し、アドバイスを受けながら保育の改善を行っている。しかし職員間での情報共有は十分ではない。</p>		
Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 福祉施設・事業所が有する機能を地域に還元している。	a・b・(c)
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>立地条件から地域の保護者との交流の場を提供する機会はないが、今後、地域の一員としてできることから始める工夫をしてほしい。</p>		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・b・(c)
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>近隣の事業所との関わりを持つことで、少しずつ地域に浸透し始めている。災害時の協力要請については理解を得ている。民生児童委員等とつながり、地域の福祉ニーズを把握する取組から始めてほしい。</p>		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重した福祉サービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a (b)・c



<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもを尊重した保育をするために基本姿勢を理念や基本方針に明示し、企業グループ主催で定期的に職員の研修を行っている。職員に研修内容を報告し、共通理解を図っている。</p>		
29	Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護等の権利擁護に配慮した福祉サービス提供が行われている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>権利擁護に関する規定・マニュアルを整備し、保護者の同意を得て取り組んでいる。プール遊びの際にはフェンスに目隠しをするなどの配慮をしている。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して福祉サービス選択に必要な情報を積極的に提供している。	<input checked="" type="radio"/> a・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>利用希望者が見学する際は、保育内容が説明してあるパンフレットを渡し、わかりやすく必要な情報を伝えている。ホームページ等で園の行事を公開して活動を紹介し、情報を入手できるようにしている。</p>		
31	Ⅲ-1-(2)-② 福祉サービスの開始・変更にあたり利用者等にわかりやすく説明している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の開始時は、入園のしおり、重要事項説明書を用いて保護者に説明している。個別的な対応が必要な子どもや保護者に対しては、丁寧な聞き取りを行い、疑問や不安の軽減に努めている。</p>		
32	Ⅲ-1-(2)-③ 福祉施設・事業所の変更や家庭への移行等にあたり福祉サービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>在園していた子どもの保護者から相談などあれば園長・担任が対応している。口頭だけでなく、移行に伴う引継ぎや申し送りの手順、文書の内容等、記録の整備を期待する。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a <input checked="" type="radio"/> b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保護者同士の信頼関係を構築するため、各家庭の子どもの写真、長所や心配事をまとめて全保護者に配布した。夏祭りは、子どもたち独自の手作りの夜店ごっこ等を少人数でおこなった。未満児の発表会についてはDVDにして各保護者に配布し、好評だった。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a <input checked="" type="radio"/> b・c

<コメント>  
 苦情受付の窓口を重要事項説明書に明記し、保護者に説明している。苦情内容についてはその都度直接対応し、職員間で共有し記録も残して、保護者にフィードバックしている。連絡ノートのやりとりや送迎時など、普段のコミュニケーションを大切にしている。  
 第三者委員を設けている。

35	Ⅲ-1-(4)-② 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、利用者等に周知している。	a・ <b>b</b> ・c
----	--	----------------

<コメント>  
 送迎時や連絡ノート等で、相談や意見を言いやすい関係作りに努めている。決まったスペースはないが、場合によっては事務室を活用して意見が述べやすいよう工夫している。

36	Ⅲ-1-(4)-③ 利用者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・ <b>b</b> ・c
----	---	----------------

<コメント>  
 保護者からの相談や意見は、迅速に対応するよう努めている。設備に関わることは本部に相談している。対応マニュアル等の見直しをし、意見等を話し合うことで、保育の質の向上につながることを期待する。

Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。

37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・ <b>b</b> ・c
----	---	----------------

<コメント>  
 職員は安全確保や事故防止に関する研修を行っている。ヒヤリハットや事故は、すぐに事故報告書に記録し、再発防止に取り組んでいる。今後リスク検討委員会を設置し、職員の気づきを促すよう検討する予定である。

38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における利用者の安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・ <b>b</b> ・c
----	--	----------------

<コメント>  
 感染症の予防と発生時等の対応マニュアルを作成し、職員に周知徹底している。コロナウイルスに関するマニュアルも整備している。感染症予防のため、次亜塩素酸水による消毒の徹底や保育内容の見直しをしている。感染症が確認された場合は玄関に掲示し、保護者には一斉メールで連絡している。

39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における利用者の安全確保のための取組を組織的にやっている。	a・ <b>b</b> ・c
----	--	----------------

<コメント>  
 年間計画を立て、火災・地震・不審者対応等の避難訓練を毎月行っている。訓練をとおして見直し、改善している。立地的に高い場所がないので、早急に避難場所の検討をする予定である。

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 提供する福祉サービスについて標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育マニュアルを整備し標準的な実施方法が確立している。福祉サービスについて、全体・年齢ごとの週案・月案・年間計画の保育計画が文書化され、それに基づいた保育を実施している。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a Ⓑ c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>職員の話し合いや、保護者の意見や提案を検証し、必要な見直しを行っている。日々の保育日誌や指導案を振り返り、計画案の見直し、修正を行っている。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく個別的な福祉サービス実施計画を適切に策定している。	a Ⓑ c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>子どもと保護者の状況を正確に把握して、ニーズに合わせた指導計画を作成している。子どもの発達や状態に応じた計画を作成している。保護者や様々な専門機関と連携している。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に福祉サービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a Ⓑ c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>日々の保育・週案・月案・年間計画等の指導計画は、定期的に評価・見直しが行われ、継続的に保育の向上につなげている。訂正があった場合はその都度修正を行っている。見直し（評価・反省）は行っているが、保護者の意向を得る検討会議等は設けていない。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関する福祉サービス実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	Ⓐ・b・c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>保育の実施状況は、発達経過記録・成長記録に毎月記載している。SIDSの記載も実施している。子どもに関する情報は、ミーティングで全職員に周知している。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a Ⓑ c
<p>&lt;コメント&gt;</p> <p>入園時に個人情報取り扱いについての同意を得ている。個人情報にかかわることは子どもの個別ファイルにまとめ、鍵付きの場所に保管している。記録管理の責任者を設置し、電子データについての取り扱いや情報漏えい対策について更なる取り組みを望む。</p>		

## 福祉サービス第三者評価結果（住吉クローバー保育園） （内容評価基準—保育所版—）

※すべての評価項目（20項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を記入する。

### A-1 保育内容

評価項目	第三者評価結果	判断理由
A-1-(1) 保育課程の編成		
1	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	①・b・c クラス担任が保育所の理念に基づき作成した年間計画を、複数担任や他の保育者と共有している。また、定期的に評価を行い、次年度に活用できるよう努めている。
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
2	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	①・b・c 次亜塩素酸電解水を使用して衛生的な環境づくりを行っている。遊具使用時の安全への配慮や週1回の安全点検等、園児が心地よく生活できるよう安全管理に努めている。
3	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	①・b・c 子どもの様子をしっかりと観察することを園全体で大切にしている。グループ園の研修や意見交換などを行って園児とのよりよい接し方や声かけを常に考えてかかわっている。
4	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	①・b・c 年齢に応じた生活習慣を習得できるよう一人ひとりに応じたかかわりをしている。特に子どもの自発的な意欲が引き出せるよう褒めたり認めたりしている。
5	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	①・b・c 遊戯室がなく園庭が小さいという中で、近くの広場や園バスで公園に出かけたり、自然豊かな環境で遊べる工夫をしている。また保育室の仕切を取り外して広い空間を確保するなどの工夫もみられる。
6	A-1-(2)-⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	①・b・c 子どもの表情やしぐさを観察し、話しかけている。園での生活の様子や興味関心のある出来事、体調の様子などを送迎時や連絡帳で保護者に伝えている。保育室は温・湿度や清潔に留意し、安全で清潔感ある環境である。
7	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・②・c 子どもの自発的な行動を見守り、褒めたり共感するなど、子どもの思いを大切にしかかわりをしている。コロナ禍の影響により異年齢による交流や保育者以外のかかわりを控えている。
8	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・②・c 子どもは遊びの中で、意見を出し合ったり聞いたりして、楽しみながら活動している。コロナ禍の影響により小学校との連携が十分ではないが、就学支援シート等を活用した伝達をしている。
9	A-1-(2)-⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・②・c 市との相談や巡回相談体制が整っている。関係機関と連携して子どもに応じた配慮や対応ができるように努めている。
10	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	①・b・c 子どもの在園時間に応じた過ごし方を考慮している。現在、一部屋に大人数とならないよう遊びコーナーを設けるなどの工夫をしている。長時間となる子どもにはおやつを準備している。
11	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・②・c 初めての卒園を迎える。保育所児童保育要録を作成する予定である。コロナ禍の影響により小学校との連携は難しい状況にあるが、今後は校区内の小学校と相談していく予定である。

A-1-(3) 健康管理			
12	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	Ⓐ・b・c	健康管理マニュアルや保健計画を作成している。予防接種状況は懇談等で確認し把握している。未満児にはSIDSチェックシートを使用し、乳幼児突然死症候群予防に努めている。視診表やSIDSチェックを行った後、保健だよりを毎月発行したりして健康管理をしている。
13	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	Ⓐ・b・c	健康診断・歯科健診の結果は保護者に伝えている。丁寧に治療を促している。また、健康について子どもにわかりやすく伝えている。
14	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師から指示を受け適切な対応を行っている。	Ⓐ・b・c	食物アレルギー対応マニュアルをもとに対応している。すべての子どもに対し、卵と小麦粉を使わない給食を提供している。食物アレルギーをもつ子どもに対しては、職員の意識付けをするためにもトレーに乗せて、給食を提供している。
A-1-(4) 食事			
15	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	Ⓐ・b・c	食育年間計画を立て、野菜作りやクッキングを行っている。献立会議を毎月行い、旬の食材や子どもの好きなメニューや苦手なおやつなどについて意見交換をしている。その結果、子どもの好き嫌いが改善してきている。
16	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	Ⓐ・b・c	大量調理マニュアルや食物アレルギー対応マニュアルが整備されている。旬の食材を子どもが食べやすいように工夫したり、一口でも食べられるようにしている。手作りおやつや行事食、園庭での米作りなどの食育活動を取り入れている。

## A-2 子育て支援

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-2-(1) 家庭との緊密な連携			
17	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	Ⓐ・b・c	個別懇談（年2回）、運動会や発表会などの行事、お便りなどで子どもの成長の様子を保護者に伝えている。今年度の未満児の発表会をDVDで家庭に配布したことで普段の園生活の様子がより伝わった。
A-2-(2) 保護者等の支援			
18	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	Ⓐ・b・c	個別面談や普段のさまざまな場面で子どもの生活の様子を保護者に伝えている。相談に応じる時間や体制を確保したり、連絡を密にしたりして相互理解に努めている。
19	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・Ⓑ・c	児童虐待対応マニュアルが整備されている。普段の観察を意識し、虐待の可能性がないか職員間で情報共有している。研修会への参加やミーティングなどを行い意識の向上に努めている。

## A-3 保育の質の向上

評価項目	第三者評価結果	判断理由	
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）			
20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・Ⓑ・c	自己評価を行い、保育日誌に記録している。様々な場面で意見交換をし、専門性につなげていこうと取り組んでいる。